

(様式4)

## 令和6年度 学校総合評価

### 6 今年度の重点目標に対する総合評価

5つの重点項目に対して9つの分掌でそれぞれ重点課題と達成目標を設定し、取り組みを進めてきた。主な変更点等として、①生徒指導について、生徒主体の交通安全道徳の規範意識の醸成②進路支援について、生徒の読解力や記述力の向上③学習活動について、社会人基礎力の「考え抜く力」の向上を新たな達成目標とした。

重点課題に定めた9課題の評価結果は、A（達成した）1課題、B（ほぼ達成した）5課題、C（やや不十分だった）3課題であった。

#### (1) 学習活動では3つの重点課題に取り組んだ。

教科指導の充実と確かな学力の向上を目指して、全教科科目で学習アンケートを実施し、授業改善に取り組んだ。また、年3回以上自己評価シートでチェックし、自分を振り返りさせることができた。

商業教育では、生徒の記憶定着システム（モノグサ）を活用し、隙間時間の活用や自宅学習の充実促進を図り、高度な資格取得にも挑戦できた。

「デザイン思考」を取り入れた外部講師によるアントレプレナーシップを学び、ビジネスに新しい価値を生み出す探究的学習を「TOMI SHOP」で実践的・体験的学習できた。

#### (2) 学校生活では2つの重点課題に取り組んだ。

社会人が求められる礼儀等の基本的なマナーを身につけ、交通規範も遵守し、規律ある生活態度で学校生活を過ごすことができた。

AED講習会や熱中症応急処置講習会を実施し、教職員や生徒が災害を未然に防ぐための術を学ぶことができた。

#### (3) 進路支援では、学校全体で組織的、計画的かつ効率的なキャリア教育を行い、生徒の進路実現をサポートでき、進路満足度は高い目標値を達成できた。

#### (4) 特別活動では2つの課題に取り組んだ。

部活動については、新型コロナウイルス感染症が収束し、活動環境は整ったものの、自己の高い目標に到達できない割合が多かった。

進路実現に必要な書籍や社会問題に関する企画展示を工夫し、図書館利用率増加に努めた。

#### (5) PTA活動では、情報発信や案内連絡のデジタル化が定着し、会員相互の連携が今まで以上に迅速に図れるようになった。

### 7 次年度へ向けての課題と方策

三つの方針「スクールポリシー」を踏まえ、次のような観点から教育活動の充実を目指していきたい。

#### (1) デザイン思考を取り入れた課題設定力・解決力を見に付け、外部人材によりアントレプレナーシップ（起業家精神）を学び、ビジネスに新しい価値を生み出す主体的な生徒を育成する。

#### (2) 基礎科目に関する個別指導を実施し、商業の基礎となる力を育み、理解力、実践力を身につけさせる。また、高度な資格に挑戦することで生徒の学習意欲を高め、進路実現に繋げる。

#### (3) 模擬株式会社「TOMI SHOP」を通して実践力を高め、社会人基礎力の育成に努める。

#### (4) 周りから愛され、信頼される社会人になるため、地域社会と連携した教育活動を推進し、社会人として必要なマナーと心構えの習得に取り組み、人間力を育む。